

レベル



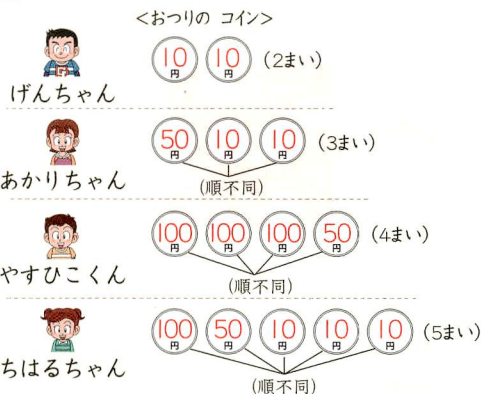
か お買い物



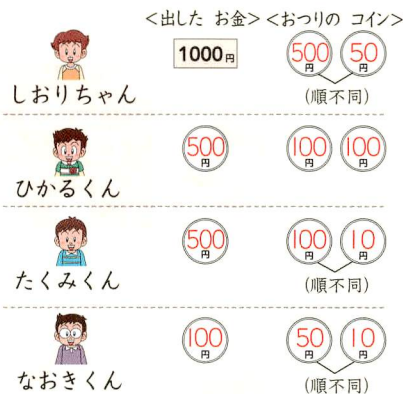
いろいろな場合を考える問題

解答

1



2



3



解説

買い物をしたときの、おつりの金額とコインの枚数に関する問題です。買い物という生活場面でも、算数の学習につながるようにしていきましょう。

1

買った品物と出したお金がわかっています。おつりの金額とコインの枚数から、当てはまる組み合わせを考えましょう。

げんちゃん: $50 - 30 = 20$ で、おつりは20円。あかりちゃん: $100 - 30 = 70$ で、おつりは70円。
やすひこくん: $500 - 150 = 350$ で、おつりは350円。ちはるちゃん: $1000 - 820 = 180$ で、おつりは180円。4人ともいちばん少ない枚数でおつりを受け取っています。

2

買った品物とおつりのコインの枚数から、出した金額を考えます。

しおりちゃん: $1000 - 450 = 550$ で、おつりは550円。

ひかるくん: 300円より高いコインは500円玉だけなので、 $500 - 300 = 200$ で、おつりは200円。

たくみくん: ひかるくんと同様に、 $500 - 390 = 110$ で、おつりは110円。

なおきくん: 40円より高いコインは、500・100・50円玉の3種類考えられます。500円玉を出したとき、おつりは $500 - 40 = 460$ 円で、100・100・100・100・50・10と6枚のコインが必要です。100円玉を出したとき、おつりは $100 - 40 = 60$ 円です。50・10と2枚で、当てはまります。50円玉を出したとき、おつりは $50 - 40 = 10$ 円です。おつりに5円玉はないので、当てはまりません。

3

おつりのコインの種類が4人とも違うことから、出した金額の低い人から順に考えていきましょう。

まさひこくん: 考えられるおつりのコインは10円玉だけです。 $50 - 10 = 40$ で、40円の品物を買ったとわかります。

さやかちゃん: 10円玉は使ったので、おつりは50円玉。 $100 - 50 = 50$ で、50円の品物。

じゅんくん: $500 - 100 = 400$ で、400円の品物。

えりちゃん: $1000 - 500 = 500$ で、500円の品物。